

表6:入院料等の届出状況(複数選択)

	病院数 (延べ数)	%
入院基本1	15	0.9%
入院基本2	5	0.3%
入院基本3	754	45.4%
入院基本4	173	10.4%
入院基本5	236	14.2%
入院基本6	172	10.3%
入院基本7	73	4.4%
特別入院1	19	1.1%
特別入院2	15	0.9%
特定機能病院入院基本料 (精神病棟Ⅰ群、Ⅱ群)	72	4.3%
精神科救急入院料	14	0.8%
急性期治療1	101	6.1%
急性期治療2	8	0.5%
精神療養1	616	37.1%
精神療養2	20	1.2%
老人性痴呆疾患治療病棟	191	11.5%
老人性痴呆疾患療養病棟	205	12.3%
老人性痴呆疾患療養病棟の 介護療養型医療施設	100	6.0%
非該当・不明	24	1.4%
	実数	%
病院数(再掲)	1,662	100.0%

表7:平成15年6月30日現在の精神病院在院患者の処遇

	病棟種別						合計	保護室の 隔離患者数	身体的拘束を 行っている 患者数
	夜間外開放		個別開放		終日閉鎖				
	n	%	n	%	n	%			
措置入院	72	0.1%	306	0.4%	2,188	1.6%	2,566	0.8%	-
医療保護入院	17,787	15.3%	20,983	28.7%	75,375	53.8%	114,145	34.7%	-
任意入院	96,301	83.1%	51,607	70.6%	62,016	44.3%	209,924	63.8%	-
その他の入院	1,729	1.5%	236	0.3%	496	0.4%	2,461	0.7%	-
合計	115,889	100.0%	73,132	100.0%	140,075	100.0%	329,096	100.0%	7,741
(行の%)	(35.2%)		(22.2%)		(42.6%)		(100.0%)		

表8:平成15年6月30日現在の精神病院在院患者数(疾患名・性・年齢階級別)

疾患名	年齢階級別患者数			合計	
	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	n	%
F0 症状性を含む器質性精神障害	67	737	7,690	57,729	17.5%
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	28	1,540	10,143	17,462	5.3%
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	944	24,743	120,748	200,935	61.1%
F3 気分(感情)障害	141	2,592	10,003	22,962	7.0%
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	335	1,582	2,596	6,811	2.1%
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	125	288	261	840	0.3%
F6 成人の人格及び行動の障害	70	850	859	2,332	0.7%
F7 精神遅滞	86	1,463	5,386	9,184	2.8%
F8 心理的発達の障害	128	132	100	394	0.1%
F9 小児期及び青年期の精神障害*	145	116	246	660	0.2%
てんかん(F0に属さないものを計上する)	45	781	3,693	5,856	1.8%
その他	75	539	1,455	3,931	1.2%
合計	2,189	35,363	163,180	329,096	100.0%
(行の%)	(0.7%)	(10.7%)	(49.6%)	(39.0%)	(100.0%)

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表9: 精神病院在院患者数(疾患名・性・入院形態別)

疾患名	入院形態別患者数				合計	
	措置入院	医療保護	任意入院	その他の入院	n	%
F0 症状性を含む器質性精神障害	45	25,524	31,282	878	57,729	17.5%
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	181	4,097	13,154	30	17,462	5.3%
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,071	69,896	128,879	89	200,935	61.1%
F3 気分(感情)障害	81	5,377	17,484	20	22,962	7.0%
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	22	1,495	5,260	34	6,811	2.1%
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	271	556	11	840	0.3%
F6 成人の人格及び行動の障害	51	766	1,508	7	2,332	0.7%
F7 精神遅滞	42	3,621	5,013	508	9,184	2.8%
F8 心理的発達の障害	10	243	140	1	394	0.1%
F9 小児期及び青年期の精神障害*	11	289	354	6	660	0.2%
てんかん(FOに属さないものを計上する)	23	1,579	4,007	247	5,856	1.8%
その他	27	988	2,286	630	3,931	1.2%
合計	2,566	114,145	209,924	2,461	329,096	100.0%
(行の%)	(0.8%)	(34.7%)	(63.8%)	(0.7%)	(100.0%)	

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表10:在院患者数(在院期間・年齢階級別)

在院期間	年齢階級						合計			
	20歳未満		20歳以上40歳未満		40歳以上65歳未満			65歳以上		
	n	%	n	%	n	%		n	%	
1年未満	1,846	84.3%	19,196	54.3%	40,041	24.5%	38,717	30.2%	99,800	30.3%
1年以上5年未満	286	13.1%	8,899	25.2%	41,030	25.1%	41,574	32.4%	91,789	27.9%
5年以上	57	2.6%	7,268	20.6%	82,109	50.3%	48,073	37.5%	137,507	41.8%
合計	2,189	100.0%	35,363	100.0%	163,180	100.0%	128,364	100.0%	329,096	100.0%

表11:在院患者数(在院期間・入院形態別)

在院期間	入院形態						合計			
	措置入院		医療保護入院		任意入院			その他入院		
	n	%	n	%	n	%		n	%	
1年未満	1,318	51.4%	37,871	33.2%	60,213	28.7%	398	16.2%	99,800	30.3%
1年以上5年未満	495	19.3%	33,166	29.1%	57,691	27.5%	437	17.8%	91,789	27.9%
5年以上	753	29.3%	43,108	37.8%	92,020	43.8%	1,626	66.1%	137,507	41.8%
合計	2,566	100.0%	114,145	100.0%	209,924	100.0%	2,461	100.0%	329,096	100.0%

表12:精神科病院の外来等の実績(平成14年6月1ヶ月間)

入院患者数	外来患者数	往診件数	訪問看護実施件数
27,692	2,155,592	2,970	43,964
(3,785)			

(平成14年3～5月に入院歴あり)

表13:精神科病院平成14年6月入院患者数(疾患名・年齢階級別)

疾患名	年齢階級別入院患者数				n	%	
	20歳未満		40歳以上				65歳以上
	20歳未満	40歳未満	40歳以上	65歳未満			
F0 症状性を含む器質性精神障害	12	110	485	4,061	4,668	16.9%	
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	28	612	2,013	585	3,238	11.7%	
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	294	3,843	5,167	1,411	10,715	38.7%	
F3 気分(感情)障害	70	1,179	2,315	1,415	4,979	18.0%	
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	153	674	536	328	1,691	6.1%	
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	46	116	48	20	230	0.8%	
F6 成人の人格及び行動の障害	47	373	110	41	571	2.1%	
F7 精神遅滞	22	192	156	47	417	1.5%	
F8 心理的発達の障害	30	25	14	6	75	0.3%	
F9 小児期及び青年期の精神障害*	41	34	15	5	95	0.3%	
てんかん(F0に属さないものを計上する)	20	149	165	51	385	1.4%	
その他	18	160	175	275	628	2.3%	
合計	781	7,467	11,199	8,245	27,692	100.0%	
(行の%)	(2.8%)	(27.0%)	(40.4%)	(29.8%)	(100.0%)		

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表14:精神科病院平成14年6月入院患者数(疾患名・入院形態別)

疾患名	入院形態別入院患者数				合計	
	措置入院	医療保護	任意入院	その他の入院	n	%
F0 症状性を含む器質性精神障害	22	2,206	2,403	37	4,668	16.9%
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	65	693	2,451	29	3,238	11.7%
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	336	3,811	6,513	55	10,715	38.7%
F3 気分(感情)障害	45	1,104	3,819	11	4,979	18.0%
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	19	312	1,335	25	1,691	6.1%
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3	66	149	12	230	0.8%
F6 成人の人格及び行動の障害	19	161	389	2	571	2.1%
F7 精神遅滞	6	151	258	2	417	1.5%
F8 心理的発達の障害	2	41	31	1	75	0.3%
F9 小児期及び青年期の精神障害*	5	42	46	2	95	0.3%
てんかん(F0に属さないものを計上する)	2	77	301	5	385	1.4%
その他	9	150	350	119	628	2.3%
合計	533	8,814	18,045	300	27,692	100.0%
(行の%)	(1.9%)	(31.8%)	(65.2%)	(1.1%)	(100.0%)	

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表15:平成15年6月残留患者数(疾患名・年齢階級別)

疾患名	年齢階級別入院患者数				合計	
	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上	n	%
F0 症状性を含む器質性精神障害	0	10	111	1,130	1,251	31.3%
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	0	20	145	81	246	6.2%
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	13	380	1,087	401	1,881	47.0%
F3 気分(感情)障害	0	29	137	152	318	8.0%
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7	15	33	37	92	2.3%
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	1	4	4	11	0.3%
F6 成人の人格及び行動の障害	0	6	13	9	28	0.7%
F7 精神遅滞	0	17	28	21	66	1.7%
F8 心理的発達の障害	1	2	3	1	7	0.2%
F9 小児期及び青年期の精神障害*	2	0	1	1	4	0.1%
てんかん(F0に属さないものを計上する)	0	11	28	8	47	1.2%
その他	0	5	9	33	47	1.2%
合計	25	496	1,599	1,878	3,998	100.0%
(行の%)	(0.6%)	(12.4%)	(40.0%)	(47.0%)	(100.0%)	

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表16:平成15年6月退院患者の状況(在院期間別)

退院時の状況	在 院 期 間 別												合計	
	1年未満		1年以上 5年未満		5年以上 10年未満		10年以上 20年未満		20年以上		合計		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
家庭復帰等	18,907	76.7%	933	34.5%	129	21.3%	66	15.9%	28	7.0%	20,064	69.7%		
社会復帰施設等	1,697	6.9%	375	13.8%	72	11.9%	57	13.7%	30	7.5%	2,231	7.8%		
転院	3,423	13.9%	1,022	37.7%	291	48.1%	236	56.9%	272	67.8%	5,246	18.2%		
死亡	624	2.5%	378	14.0%	113	18.7%	56	13.5%	71	17.7%	1,242	4.3%		
合計	24,651	100.0%	2,708	100.0%	605	100.0%	415	100.0%	401	100.0%	28,784	100.0%		
(行の%)	(85.6%)		(9.4%)		(2.1%)		(1.4%)		(1.4%)		(100.0%)			

表17:平成15年6月退院患者数(疾患名・年齢階級別)

疾患名	年齢階級別患者数			合計	
	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満		
F0 症状性を含む器質性精神障害	13	90	455	4,750	16.5%
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	24	653	1,848	3,137	10.9%
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	306	4,032	5,194	11,355	39.5%
F3 気分(感情)障害	75	1,306	2,476	5,375	18.7%
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	136	764	474	1,695	5.9%
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	32	130	65	256	0.9%
F6 成人の人格及び行動の障害	47	430	97	609	2.1%
F7 精神遅滞	24	172	160	405	1.4%
F8 心理的発達の障害	28	22	6	60	0.2%
F9 小児期及び青年期の精神障害*	27	30	13	76	0.3%
てんかん(F0に属さないものを計上する)	20	141	210	423	1.5%
その他	30	161	192	639	2.2%
合計	762	7,931	11,190	28,780	100.0%
(行の%)	(2.6%)	(27.6%)	(38.9%)	(30.9%)	(100.0%)

*小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

表18:平成15年6月30日の痴呆性疾患専門病棟の在院患者数

在院期間	治療病棟		療養病棟	
	n	%	n	%
1ヶ月未満	874	8.1%	605	3.6%
1ヶ月以上3ヶ月未満	1,600	14.8%	1,131	6.7%
3ヶ月以上6ヶ月未満	1,352	12.5%	1,339	7.9%
6ヶ月以上1年未満	1,548	14.4%	2,208	13.1%
1年以上未5年未満	4,049	37.5%	7,971	47.3%
5年以上未10年未満	750	7.0%	2,034	12.1%
10年以上未20年未満	325	3.0%	819	4.9%
20年以上	285	2.6%	757	4.5%
合計	10,783	100.0%	16,864	100.0%

表19:精神科診療所等の状況

精神科診療所数	2,279
6月30日の精神科受診者数	83,582
うち初診	3,875
うち再来	79,707
平成15年6月1ヵ月間の実績(延べ数)	
精神科受診者数	1,816,217
うちデイケア等利用者数	183,861
往診件数	7,796
訪問看護実施件数	9,760

図1:精神科病院新入院者の退院状況(実数)

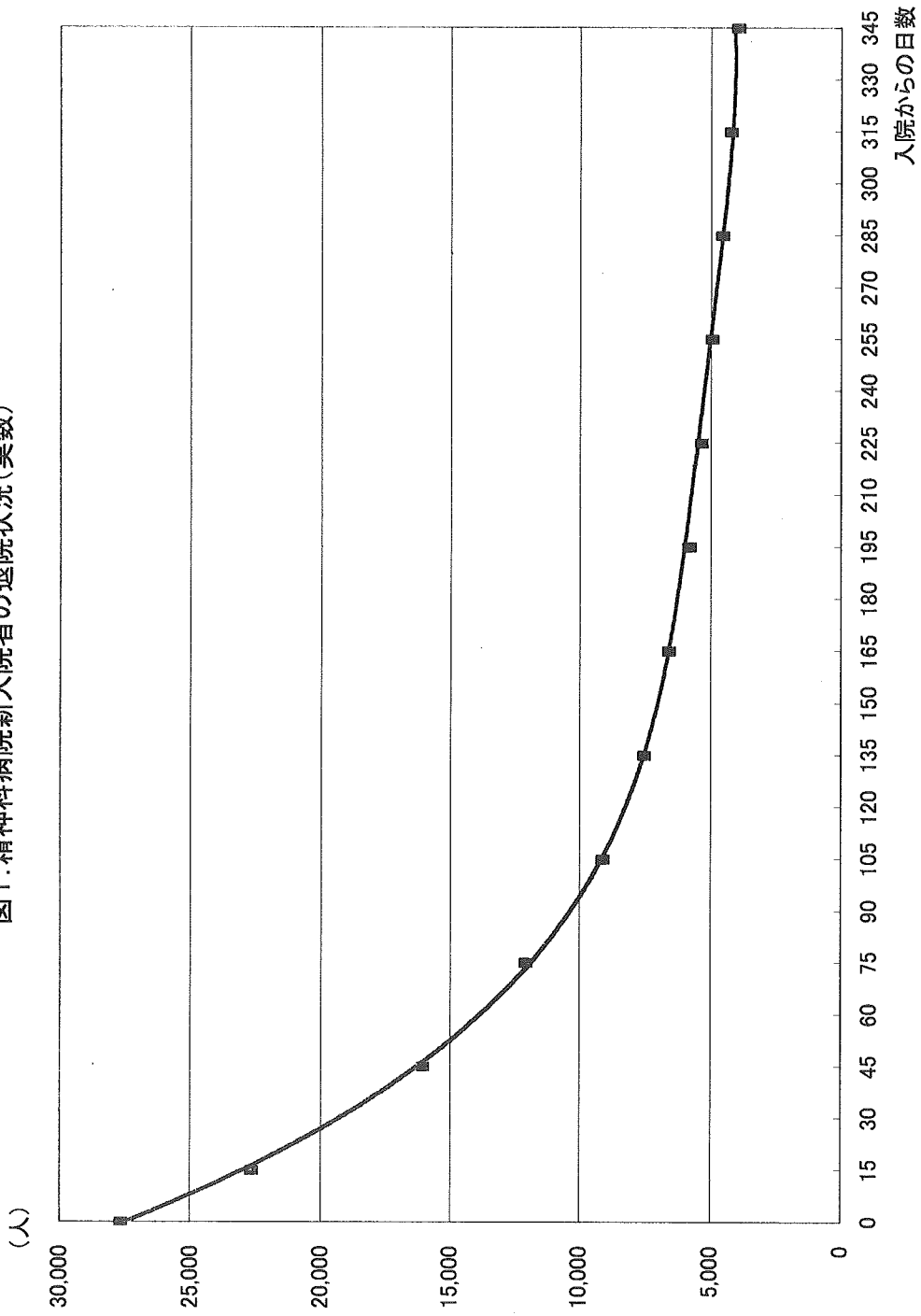


図2:精神科病院新入院者の退院状況(比率)

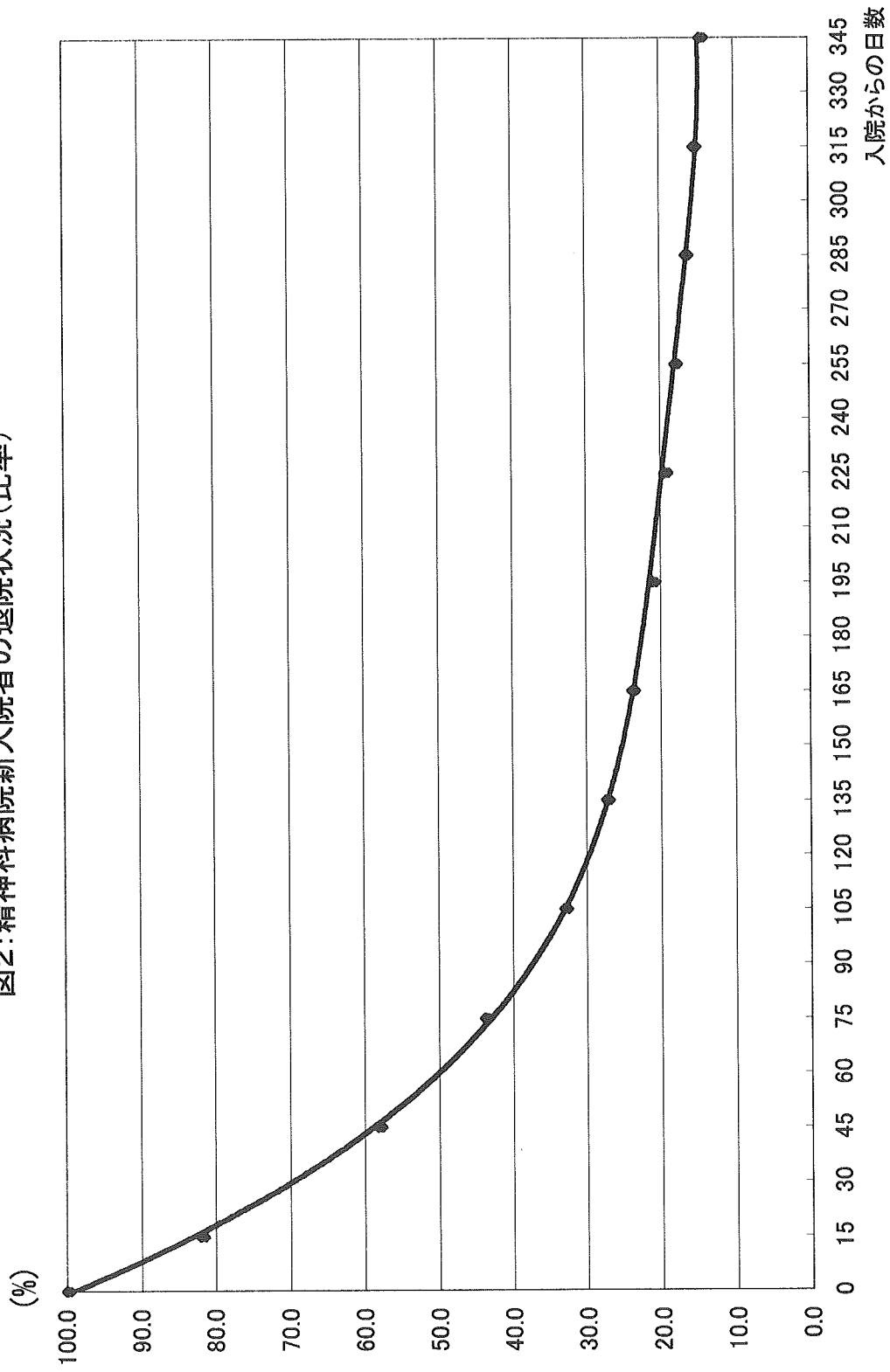


図3: 痴呆性疾患専門病棟新入院患者の退院状況(実数)

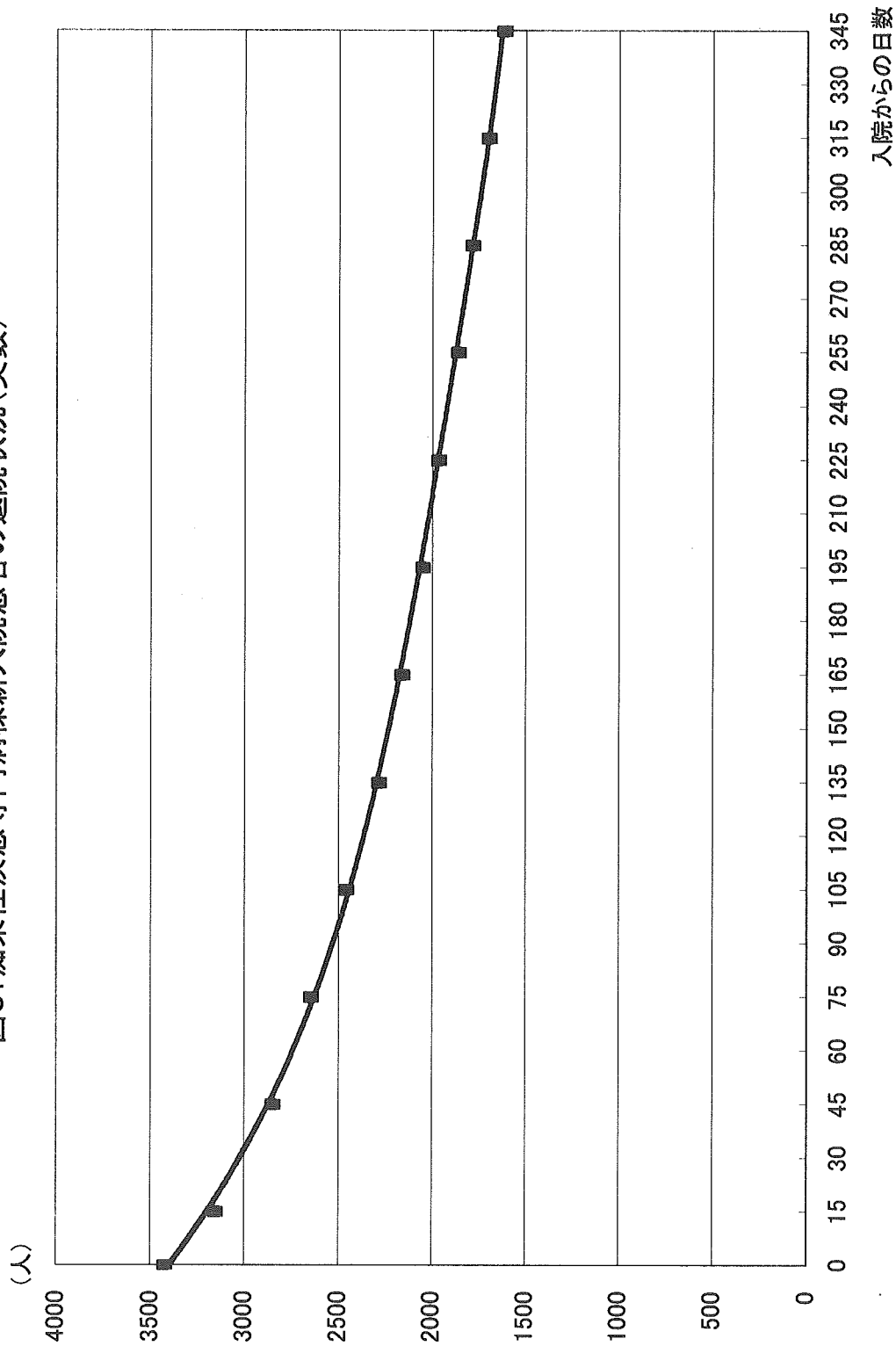
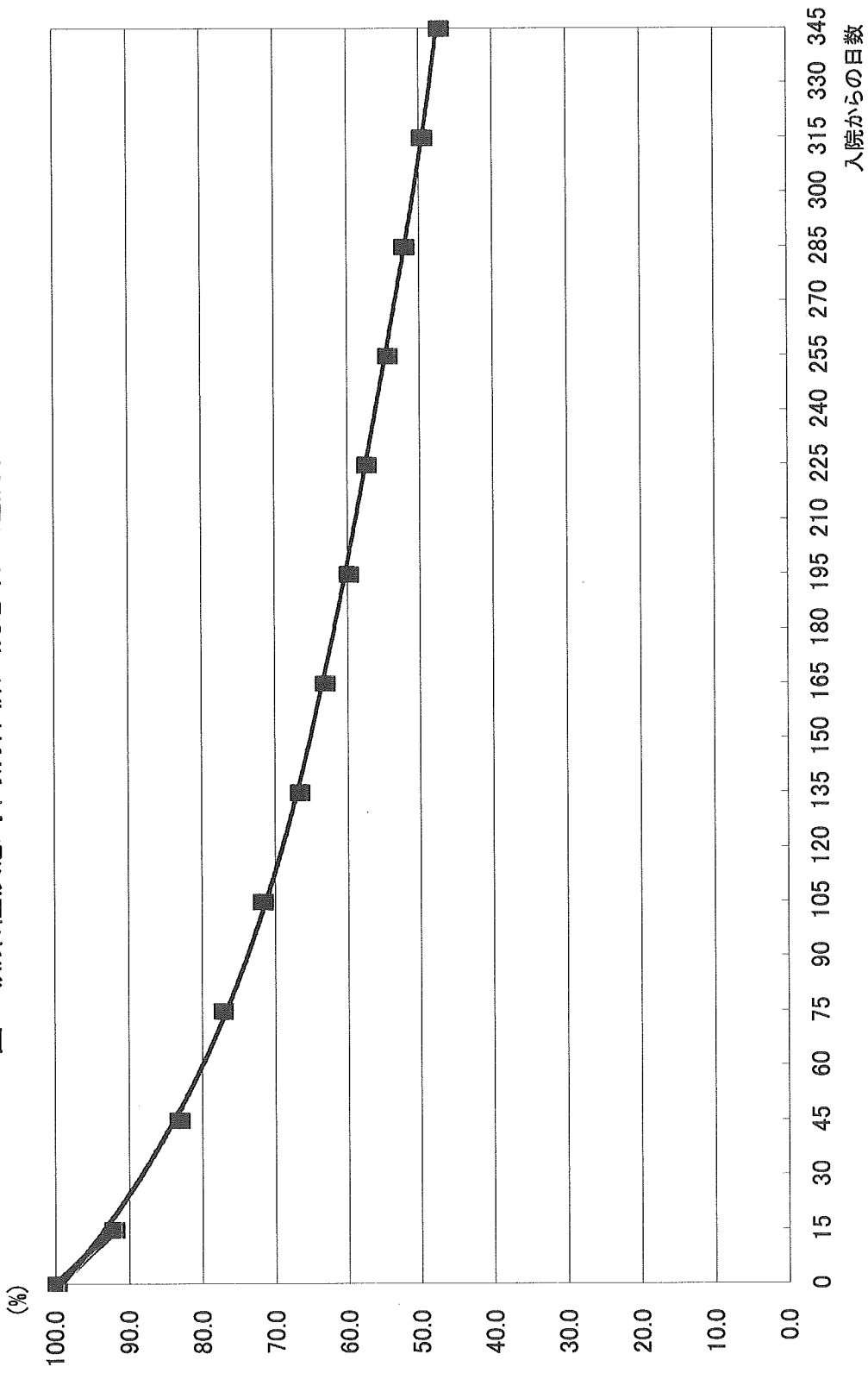


図4：痴呆性疾患専門病棟新入院患者の退院状況(比率)



平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）
精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び情報提供に関する研究
分担研究：精神病院・社会復帰施設等の実態に関する研究
研究協力報告書
精神科デイケア等の実態に関する研究

研究協力者 長沼 洋一（国立精神・神経センター精神保健研究所）
浅野 弘毅（認知症介護研究・研修仙台センター）
分担研究者 竹島 正（国立精神・神経センター精神保健研究所）

研究要旨：本研究は、厚生労働省精神保健福祉課が毎年行っている調査に研究面より関与し、本報告書では、精神科デイケア等に関係する内容について、その活動の状況を明らかにすることを目的とし、平成 15 年 6 月 30 日付で行われた調査で明らかとなった集計値を提示し、主要な項目については、昨年度の同調査の集計値からの増減についても検討した。精神科病院における精神科デイケア等の実施率はほぼいずれも増加しており、精神科デイケアの実施率は 50%をこえていた。平成 15 年度調査より 6 月 30 日またはその直前のサービス実施日に精神科デイケア等（老人性痴呆疾患デイケアをのぞく）の利用者の属性について調査され、これらについて把握することができた。性別については、男性が約 65%、女性が 35%であり、年齢階級別では 20 歳以上 40 歳未満 38.3%、40 歳以上 65 歳未満 51.8%であった。また疾患別では、全体で統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 (F2) が 7 割を越えていた。

A. 研究目的

現在、日本における精神保健福祉は入院医療主体から、地域における保健・医療・福祉を中心としたあり方が提唱され、大きな変革期を迎えている。このような状況の中で、精神科病院、精神科デイケア施設等、社会復帰施設等を含む、地域精神保健福祉活動の状況を、継続的にモニタリングすることは、大きな意義がある。

本研究は、厚生労働省精神保健福祉課が毎年行っている調査に研究面より関与し、精神保健福祉の活動状況を

総合的に把握する研究の一環として実施された。本報告書では、精神科デイケア等に関係する内容について、その活動の状況を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課では、毎年 6 月 30 日付で、精神保健福祉課長から都道府県・政令指定都市の精神保健福祉主管部（局）長に「精神保健福祉関係資料の作成について」という文書依頼を行

い、全国の精神科デイケア等の状況についての資料を得ている。この情報収集は精神保健福祉課の業務の参考にすることを目的としており、全国の精神科病院、社会復帰施設等の協力によって継続され、我が国の精神保健福祉に関する貴重な資料となっている。本研究は平成15年6月30日付で行われた調査の中で精神科デイケア等に関係する部分を厚生労働科学研究として解析したものである。本報告書では、平成15年6月30日付で行われた調査で明らかとなった集計値を提示し、主要な項目については、昨年度の同調査の集計値からの増減についても言及する。

（倫理面への配慮）

本研究は、各都道府県・政令指定都市毎に精神科デイケア施設等の利用者数等の集計を依頼し、それを基に分析したものであり、個人を特定可能な情報は含まれていない。

C. 研究結果

1. 調査票の変更

精神科デイケア等の状況に関する調査票について、平成15年度調査では、以下のような変更を行った。

- 1) 厚生労働大臣の設置基準に適合している施設のみを対象を限定した。
- 2) 「勤務等の状況に移行した者」数の記入欄を削除した。
- 3) 「利用実人員の居住地」について、デイケア等の種別に記入することとした。
- 4) 「新規利用者数」について、1年間

分ではなく、1カ月分をデイケア等種別に記入することとした。

5) 精神科デイケア等（老人性痴呆疾患デイケアは除く）の1日の性・年齢階級・疾患別利用実人員数を記入することとした。

2. 調査結果の概要

（1）病院区分別デイケア等実施状況
表1に病院区分別のデイケア等の実施施設数を示す。

大学病院 85カ所のうち、精神科デイケアは18カ所（21.2%）、精神科ナイトケアは2カ所（2.4%）、精神科デイナイトケアは1カ所（1.2%）で実施されており、老人性痴呆疾患デイケアを実施しているところはなかった。大学病院のうち18カ所（21.2%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

国立病院（大学病院は除く）41カ所のうち、精神科デイケアは18カ所（43.9%）、精神科ナイトケアは2カ所（4.9%）、精神科デイナイトケアは4カ所（9.8%）、老人性痴呆疾患デイケアは3カ所（7.3%）で実施されていた。国立病院のうち19カ所（46.3%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

都道府県立病院（大学病院は除く）77カ所のうち、精神科デイケアは48カ所（62.3%）、精神科ナイトケアは1カ所（1.3%）、精神科デイナイトケアは1カ所（1.3%）、老人性痴呆疾患デイケアは2カ所（2.6%）で実施されていた。都道府県立病院のうち50カ所（64.9%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

指定病院（大学病院は除く）949カ所のうち、精神科デイケアは665カ所（70.1%）、精神科ナイトケアは71カ所（7.5%）、精神科デイナイトケアは167カ所（17.6%）、老人性痴呆疾患デイケアは106カ所（11.2%）で実施されていた。指定病院のうち689カ所（72.6%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

非指定病院（大学病院は除く）480カ所のうち、精神科デイケアは121カ所（25.2%）、精神科ナイトケアは12カ所（2.5%）、精神科デイナイトケアは14カ所（2.9%）、老人性痴呆疾患デイケアは30カ所（6.3%）で実施されていた。非指定病院のうち145カ所（30.2%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

全国の精神科病院1,662カ所のうち、精神科デイケアは870カ所（52.3%）、精神科ナイトケアは88カ所（5.3%）、精神科デイナイトケアは187カ所（11.3%）、老人性痴呆疾患デイケアは141カ所（8.5%）で実施されていた。全国の精神科病院のうち921カ所（55.4%）は、いずれかのデイケアを実施していた。

（2）病院区分別外来患者中のデイケア等利用者

デイケア等を実施している病院における、平成14年6月1カ月間の外来患者（延べ人数）に占めるデイケア等（精神科デイケア、精神科ナイトケア、精神科デイナイトケア、老人性痴呆疾患デイケア）の利用者数（延べ人数）を病院区分別に表2に示す。

大学病院は、191,686人中5,703人（3.0%）、国立病院（大学病院は除く）は、85,378人中8,475人（9.9%）、都道府県立病院（大学病院は除く）は、153,372人中23,254人（15.2%）、指定病院（大学病院は除く）は、1,342,286人中372,627人（27.8%）、非指定病院（大学病院は除く）は、382,870人中53,986人（14.1%）であった。全国の精神科病院では、2,155,592人中464,045人（21.5%）であった。

（3）施設別精神科デイケアの利用状況

表3に施設別の精神科デイケア等の実施状況を示す。

精神科デイケアの施設基準の承認を受けているのは、単科精神科病院1,080カ所中636カ所（58.9%）、単科以外の精神科病院582カ所中234カ所（40.2%）、精神科診療所等2,279カ所中328カ所（14.4%）、精神保健福祉センター22カ所、その他2カ所となっており、合計1,222カ所であった。

表4に精神科デイケアの利用状況について示す。

一人あたりの月平均利用回数（延べ人員／実人員）は、単科精神科病院が10.4回、単科以外の精神科病院が10.6回、精神科診療所等が9.1回、精神保健福祉センターが8.6回、その他が7.8回となっており、全体の平均は10.1回であった。

一人あたりの月平均利用率（延べ人員／実人員／実施日数平均値）は、単科精神科病院が50.3%、単科以外の精神科病院が53.5%、精神科診療所等が

45.5%，精神保健福祉センターが56.5%，その他が41.2%となっており，全体の平均は49.9%であった。

(4) 施設別デイケア等（精神科デイケアを除く）の利用状況

精神科デイケア以外のデイケア等の利用状況について表5に示す。

精神科ナイトケアの一人あたりの月平均利用回数（延べ人員／実人員）は，単科精神科病院が11.8回，単科以外の精神科病院が8.9回，精神科診療所等が7.7回となっており，全体の平均は9.8回であった。

精神科デイナイトケアの一人あたりの月平均利用回数（延べ人員／実人員）は，単科精神科病院が14.9回，単科以外の精神科病院が15.3回，精神科診療所等が10.6回となっており，全体の平均は13.9回であった。

老人性痴呆疾患デイケアの一人あたりの月平均利用回数（延べ人員／実人員）は，単科精神科病院が14.2回，単科以外の精神科病院が13.0回，精神科診療所等が12.5回，その他が13.8回となっており，全体の平均は13.4回であった。

(5) 施設別デイケア等の新規利用者数

平成15年6月1カ月間に，精神科デイケアを新規に利用した数を施設別に表6に示す。

精神科デイケアでは1施設あたり，単科精神科病院が2.1人，単科以外の精神科病院が2.2人，精神科診療所等が2.4人，精神保健福祉センターが1.0人，その他が1.0人であり，全体の平

均は2.2人であった。

平成15年6月1カ月間に，老人性痴呆疾患デイケアを新規に利用した数は，1施設あたり，単科精神科病院が1.9人，単科以外の精神科病院が2.3人，精神科診療所等が2.0人，その他が4.0人であり，全体の平均は2.1人であった。

(6) 精神科デイケア等の利用者の居住地

表7に精神科デイケア等の利用者の平成15年6月30日における居住地について示す。

精神科デイケアの利用実人員の居住地は，在宅の割合が，単科精神科病院では86.8%，単科以外の精神科病院では89.3%，精神科診療所等では94.4%，精神保健福祉センターでは98.3%，その他では98.2%であり，全体の平均は89.3%であった。社会復帰施設等の割合が，単科精神科病院では12.1%，単科以外の精神科病院では9.1%，精神科診療所等では3.3%，精神保健福祉センターでは1.5%，その他では1.8%であり，全体の平均は9.2%であった。高齢者福祉施設の割合が，単科精神科病院では0.1%，単科以外の精神科病院では0.3%，精神科診療所等では0.5%，精神保健福祉センターでは0.0%，その他では0.0%であり，全体の平均は0.2%であった。

(7) 性・年齢階級・疾患別精神科デイケア等の利用者の状況

平成15年6月30日あるいは直前のサービス実施日（1日）に精神科デイケア，精神科ナイトケア，精神科デイ